

市税の状況

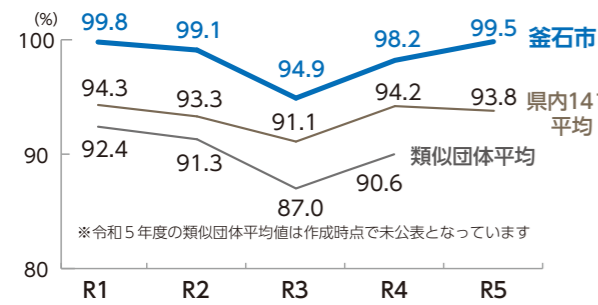
項目	令和5年度		前年度比較	
	収入済額	徴収率	収入済額	徴収率
市税(一般会計)	46億4,783万円	97.2%	3,744万円 減	-0.1ポイント
市民税	20億6,161万円	98.2%	4,959万円 減	-0.1ポイント
固定資産税	22億2,327万円	96.1%	1,788万円 減	-0.1ポイント
軽自動車税	1億284万円	97.2%	48万円 減	+0.1ポイント
市たばこ税	2億6,011万円	100.0%	621万円 減	0.0ポイント
国民健康保険税	4億7,171万円	88.8%	2,885万円 減	-1.5ポイント

市債現在高

会計区分	金額
一般会計	178億4,519万円
水道事業会計	14億3,314万円
公共下水道事業会計	49億4,892万円
漁業集落排水事業会計	2億8,353万円
合計	245億1,078万円

前年度より約12億7,900万円減少

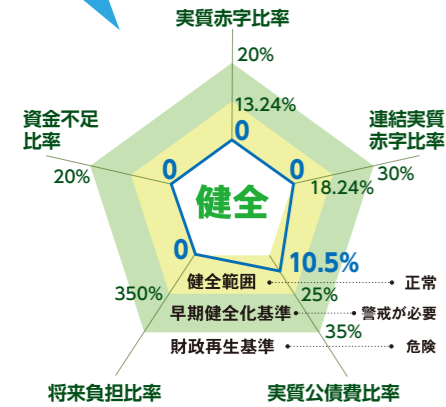
経常収支比率



市税などの経常的に収入される一般財源が人件費や扶助費、公債費などの経常的経費にどのくらい充当されたかを示す経常収支比率は、令和4年度の98.2%から1.3ポイント悪化し、令和5年度は99.5%となりました。これは市税などの経常一般財源や臨時財政対策債が約1億7,300万円減少したことに加えて、人件費や物価の上昇により物件費が約6,800万円、国民健康保険事業特別会計など特別会計に対する繰出金が約4,000万円増加したことが大きな要因です。経常収支比率が高くなるほど、新しい事業などに使える財源の確保が難しくなります。

財政健全化判断指標

釜石市はすべての指標で健全



特別会計の決算状況

一般会計とは区別し、それぞれ特定の事業を行います。

会計名	収入済額	支出済額	収支差引額
国民健康保険事業	38億6,768万円	38億1,601万円	5,167万円
後期高齢者医療事業	4億7,709万円	4億7,698万円	11万円
介護保険事業(保険事業勘定)	41億6,751万円	41億6,744万円	6万円
介護保険事業(サービス事業勘定)	2,656万円	2,656万円	0万円
魚市場事業	979万円	979万円	0万円
合計	85億4,862万円	84億9,678万円	5,184万円

企業会計の決算状況

一般会計とは区別し、独立採算により特定の事業を行います。

■水道事業

収益的収支	収入	7億158万円
	支出	6億4,011万円
資本的収支	収入	2億8,976万円
	支出	5億4,227万円

鶴住居地区の施設再編事業の完成に向けて取り組むとともに、水道施設の適切な維持のため、老朽化した設備や管路の更新に取り組みました。また、効率かつ効果的な水道施設の管理運営のために必要なアセットマネジメント(資産管理)に着手しました。

■公共下水道事業

収益的収支	収入	13億5,809万円
	支出	13億5,619万円
資本的収支	収入	5億1,292万円
	支出	7億8,342万円

甲子町大畑、上平田、鶴住居町日向において管路整備を実施し、下水道に接続できる地区を拡張しました。また、東部地区の汚水管の更生工事、雨水渠の布設替工事、大平処理区のマンホール蓋更新工事などを実施しました。

■漁業集落排水事業

収益的収支	収入	5,175万円
	支出	5,142万円
資本的収支	収入	1,018万円
	支出	1,795万円

水洗化率を向上させるための活動を行うとともに、費用の節減を行いながら、施設の適切な維持管理によるライフサイクルコストの低減に取り組みました。

令和5年度 決算報告

問い合わせ
市財政課 財政係 ☎27-8416

市民の皆さんが納めた税金、国・県からの交付金、補助金などが、令和5年度にどのように使われたのかお知らせします。
※四捨五入の関係で合計額などが合わない場合があります

一般会計の決算状況

歳入(収入)は235億2,304万円で、令和4年度から15億2,303万円増加しました。これは、精算に伴い国に対する震災復興特別交付税の返還が生じたことにより、財政調整基金繰入金などが増加したためです。

また、歳出(支出)は233億334万円で令和4年度から15億4,863万円増加しました。これは、高等教育機関設置事業や工場等取得補助金の皆増、住民税非課税世帯等に対する給付事業の増額により、増加したためです。

歳入と歳出の差引額2億1,970万円を令和6年度に繰り越しました。

依存財源

その他	3億6,695万円
地方消費税交付金	8億3,701万円
市債	10億8,550万円
県支出金	12億8,612万円
国庫支出金	43億9,143万円
地方交付税	54億8,208万円

自主財源

市税	46億4,783万円
繰入金	26億4,831万円
寄附金	9億3,489万円
諸収入	9億1,342万円
使用料及び手数料	4億7,258万円
繰越金	2億4,530万円
財産収入	1億4,364万円

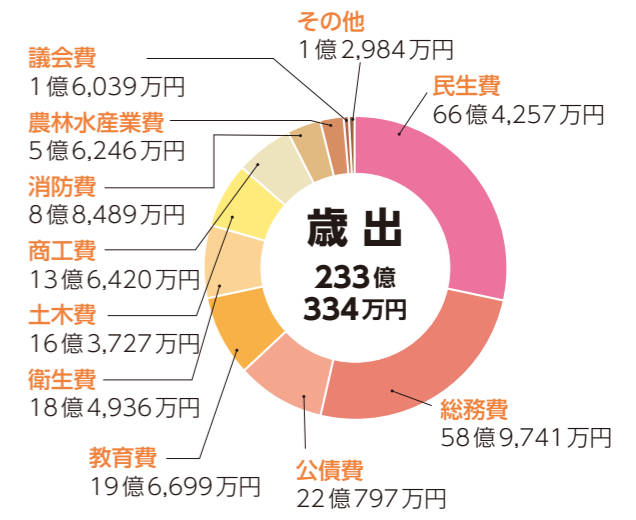
歳入

235億
2,304万円

分担金及び負担金
6,799万円

歳出

233億
334万円



用語解説

【歳入】▶自主財源…市が独自に収入するお金 ▶依存財源…国や県から交付されるお金。市の借入金も含みます ▶繰越金…前年度の予算から繰り越されたお金 ▶繰入金…基金から一般会計に移したお金 ▶国庫支出金・県支出金…それぞれ国、県から配分されるお金。使い道が指定されています ▶地方交付税…国から配分されるお金。使い道を市が決められます ▶市債…市の借入金

【歳出】▶民生費…子ども・高齢者・障がい者福祉や生活保護の費用 ▶総務費…他の費目に分類されない事業の費用(人事・企画・財政・戸籍・統計・交通安全など) ▶公債費…市債(市の借入金)の返済費用 ▶教育費…学校教育、文化・スポーツ振興の費用 ▶衛生費…予防接種や検診、ごみ・し尿処理など、生活環境を整える費用

令和5年度の主な事業

高等教育機関設置事業(3億3,709万円)

学校法人龍澤学園の専門学校開校準備のため、教育センターの内装や設備等の改修工事を行いました。

外国都市交流事業(2,169万円)

東日本大震災の支援に対する感謝を伝え、姉妹都市のディーニュ・レ・バン市との交流を深めるため、フランスで開催されたワールドアマチュアラグビーフェスティバルに選手団を派遣しました。

障がい福祉サービス施設整備費補助金(5,763万円)

障がい者の自立した生活を支援するため、社会福祉法人翔友が行う障害福祉サービス事業所の整備費用の一部に対して、補助金を交付しました。



工場等取得補助金(3億円)

企業誘致による雇用の創出と産業振興のため、SMC株式会社の工場増設費用の一部に対して、補助金を交付しました。

子ども・子育て支援給付事業(給食費の一部無償化事業)(454万円)

多子世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降の児童生徒の給食費の無償化を行いました。